



KAMIGO

～since2015～

上郷中だより 2-11号
令和3年2月26日
横浜市立上郷中学校
横浜市栄区犬山町6-2
電話(892)2478

「言葉の力・・・」

校長 小佐野 和人

3年生の皆さん、卒業まで1か月をきりました(3年生の皆さんに学校便りを渡せるのも、この2月号が最後だと思うと寂しい気持ちです)。コロナ禍での1年間、皆さんは本当に色々な場面で頑張りました。特に、この1～2か月は、悩んだり苦しんだりしながらも懸命に自分と向き合ってきました。上郷中で最後の学年末試験、私立高校入学試験、公立高校共通選抜試験、そして来週は選抜試験の発表。大きな不安とストレスを抱えた時間だったと思います。でも、この経験を通して、皆さんは間違いなく成長し、大人への一歩を歩み始めました。さあ、どんな状況でも、時間が止まることはありません。約2週間後には、卒業証書授与式を迎えます。そして今、特別時間割の中で、様々な体験学習や中学校生活の総括、そして卒業に臨む準備を進めていると思います。この2週間をどう過ごすのか?とても大切です。仲間同士、先生との関係も更に深めることができるのではないのでしょうか。

いよいよ義務教育9年間を終えることとなります。「社会で生き抜く力」を身に付けるため、皆さんは様々な学習に取り組んできました。身に付いた力は人それぞれですが、全員が中学校を卒業し、次のステップへ進んでいきます。身に付いた力をどのように活かし、自分らしい幸せな生活を実現させるか、そこが大切です。目標に向かって進んでください。

1・2年生の皆さん、4月から「後輩」が入学してきます。学校生活全ての場面で、中心となって活躍する時です。不安を抱えて入学してくる新入生が頼りにするのは、一番身近な存在である皆さんです。リーダーとして活躍し、不安を抱える1年生に道筋を示してあげてください。下級生から尊敬される上級生になり、最高の上郷中学校にしていきたいと思います。

全員が4月からの進級・進学の良いスタートをきるための、準備の3月。改めて、この3月に、今年度を振り返りながら、全員が自分の事と捉え、考えて欲しいことがあります。それは、「言葉の力」です。言葉の力って凄いなと思いませんか?使い方や表現の仕方で、人を傷つけてしまう事もあれば、逆に人を幸せな気持ちにさせる事もできます。相手の何気ない言葉で人生が決まる人だっているかもしれません。皆さんもきっと今までに誰かの言葉で傷ついたり、元気になったりした事があるはずですよ。言葉は、相手の事を考え、思いやりの気持ちで使えば、厳しい言葉でも相手の心に響く素晴らしいものになるのです。振り返ってみましょう。かけられた言葉で、元気になった人がいるでしょう。勇気をもらった人がいるでしょう。悲しい思いをした人もいるでしょう。言葉をかける側、かけられる側、みんな同じなのです。「言葉」を使い、お互いが幸せになれるように、これからも意識して使っていきましょう。「言葉」は目に見えないものなのに、相手の心にずっと残る大切なものなのですから・・・。

《保護者の皆さまそして地域の方々へ》

日頃からの学校へのご理解とご協力に感謝しています。3月11日(木)に第6回卒業証書授与式をおこないます。コロナの状況にもよりますが、現時点では保護者の皆さまには各ご家庭1名ですが、来校して頂き、3年生たちの輝く姿を、ぜひ見て頂きたいと思っています。

また、昨年に引き続き、地域の皆様の式への参加は残念ですができません。ご理解ください。



今年度は、職場体験学習の代わりに近隣の事業所へ電話インタビューを行いました。インタビューをする前に、グループで質問を考え、電話練習をするなど事前の準備を一生懸命頑張りました。当日は、各班緊張しながらも練習通り、丁寧にお伺いすることができました。普段知ることのできないことを、楽しく、真剣に学ばせていただき、感謝しております。

インタビュー後は、みんなで力を合わせて壁新聞を作成したのちに、クラスで発表会を行いました。完成した壁新聞は2学年の廊下に掲示しています。出来栄はどれも素晴らしく、ほかのグループが学んだことを共有して、さまざまな職業についての学びを深めることができました。各事業所の方々、本当にありがとうございました。



2月16日(火)、本校体育館で学芸会の発表を行いました。例年、西公会堂で行われている横浜市個別支援学級合同学芸会ですが、今年度は栄区で映像を交換しての実施となりました。他校の生徒を前にして発表する機会はありませんでしたが、保護者の方を体育館にお招きして発表をすることができました。

今年度、新型コロナウイルス感染症の流行によって、今まで当たり前だった生活が一変しました。そこで、75年前に原爆で大切なものを奪われた人たちへの思いを重ね合わせて、前を向いてがんばろうという思いを込めて、「時の環をかけて 光り輝く未来へ」という構成劇を発表しました。台本をつくり、台詞を覚え、大きな声で観客に伝わるような発声とスピードを意識して練習しました。ダンスも手本となる動画をみながら何度も練習を重ねました。本番のステージでは、これまでで一番と思える発表をすることができました。6組の心が一つになり、3年生と一緒に活動する最後の行事を見事に飾ることができました。



卒業に向けて

3学年主任 権頭 玲奈

3年前、まだ幼さが残るきらきらした笑顔で中学校生活がスタートしました。入学式では、とてもきれいな歌声を響かせ、前に立って話す人がいれば、しっかり顔を上げて話を聞いていました。きれいな歌声を聞いたとき、合唱コンクールや卒業式がとても楽しみだなと感じたことを覚えています。合唱コンクールでは想像していた以上に、素晴らしいハーモニーを披露してくれました。今年度の体育祭では1、2年生へのメッセージを学年種目で表現しました。「向かい風でも前を向け！」生徒からの言葉です。まさしく、今年1年間を考えた時、みんなに響く言葉だと思います。

3年生となったこの1年は、我慢やあきらめなければならないこと、例年と異なることが多くありました。その中でも生徒たちは、自分たちができることを精一杯に取り組んできました。そんな3年生にとって最終的な目標は「卒業式」です。折に触れて、どのような形で、どのような気持ちで「卒業式」を迎えたいか、ということ伝えてきました。日々の生活、行動、言動がみんなの「卒業式」につながっていると思っています。お世話になった方々への感謝の気持ちと共に未来へ向けての第一歩となるべく素晴らしい卒業式を迎えてほしいと思います。

この3年間、様々な場面でご理解、ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



今年度はコロナ禍での活動になり、感染予防のための制限により例年通りの活動はできませんでした。それでも地域の方、ボランティアの方のご協力により、いくつかの活動は実施することが出来ました。

<学習支援活動>

12月より新たに3名の方がボランティア登録をしてくださいました。ありがとうございます。2月10日(水)、12日(金)、15日(月)、16日(火)の4日間、図書室にて1,2年生の学年末試験に向けての「放課後学び場」が行われました。年間を通じて定期テスト前に実施していますが、今年度は座席指定などのコロナウィルス感染症対策を取りながら行いました。



「放課後学び場」

<花壇の整備>

新たにボランティアさんがお二人、お天気と雑草の生え具合を見ながら来校されました。

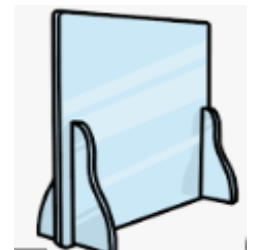
チューリップやヒヤシンスの球根が芽を出し、力強く葉を伸ばしています。冬用に生徒、職員、ボランティアさんとで植えたパンジーやピオラ、キンギョソウ、そして春に向けてのサクラ草、水仙、クリスマスローズ、菜の花も元気です。今年は寒暖の差が激しいように感じますが、昨年のような大雪による被害も少なくお花は嬉しそうです。



「菜の花」

<面接用のアクリル板>

テレビなどでよく目にする、コロナ対策の面接用アクリル板を「STEP UP 上郷中学校」で購入していただきました。コロナが収束しても、面接練習の時期は毎年インフルエンザが悩みの種ですが、来年度以降も使わせていただけることは心強いです。



「アクリル板」

<今年度コロナによる中止行事>

3年生の地域の方による面接練習は残念ながら中止とさせていただきます。

スクールカウンセラー相談予定日

石井孝子先生の来校日をお知らせします。相談を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。不明な点等ございましたら、生徒指導専任教諭 木村 までご連絡ください。

上郷中学校電話番号 892-2478

相談場所： 心の相談室・教育相談室

相談日： 3月5日(金)、12日(金)、19日(金) 午前、26日(金) 午前



来月以降の主な予定

3月 9日 卒業式予行練習

11日 第6回卒業証書授与式

26日 修了式

卒業式

